

2023.6.1 (木)
第42回例会
(通算3711回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニアファー・ジョーンズ
第2500地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	「クラブアッセンブリー」(次年度理事会)
次週例会	「佐渡正幸ガバナー補佐エレクト卓話」(理事会)

- ロータリーソング：君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー：西池 淳君
- 会員数 101名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 滝越 康雄会長



こんばんは。お食事の方はそのままお続けください。会長挨拶の時間ですが、今日はいつもと変わりました、会長ノミニーの再選出の件として皆さまにお伝えしたいと思います。先刻、今日の17時15分より緊急の臨時理事会を開催しました。理事会の開催は定款において、「第1条第1節に本クラブの管理主体は細則に規定される理事会である。第3節に理事会による最終決定、クラブのあらゆることに関して理事会の決定は最終的なものであって、クラブに対して異論を申す余地はない」、そういう文言がございます。従いまして、正式にご理解いただくためには、この基本の定款によって理事会を開催し、理事会でもって了解を得ました。今回、特別な事情が発生したことにより改めて会長ノミニーの指名をさせていただきたいと思っております。釧路ロータリークラブ定款の第5節のBにおいて、会長ノミニーはクラブ細則の定めるところに従って、会長として就任する前の18カ月以上2年以内に選挙されると書いてあります。これは不可能であります。こういう事態です。緊急措置として皆さまにご理解を願いたいと思っております。

また、釧路ロータリークラブ細則第3条第1節に従い、役員を決定する前に選挙の告示は1カ月前にしないといけません、こちらも緊急事態ですので6月1日の本日をもって告示いたしまして、立候補を受け付けたいと思います。4週間後の6月29日の本年度最終例会の冒頭に臨時総会を開催し、立候補者と指名委員会の推薦者を選挙して会長ノミニーを決定したいと思います。ただいまの対応については、理事会で最終決定しましたので皆さまにご理解いただきたいと思います。順番でいきますと、本日6月1日から2週間以内に釧路ロータリークラブ定款第4節Cに従い、会長の資格要件のある方の立候補を受け付けいたします。立候補される方は私まで連絡をお願いします。選挙の告示を兼ねた会長挨拶といたします。どうもありがとうございました。

■本日のプログラム■ クラブアッセンブリー

後藤 公貴会長エレクト

次年度会長を仰せつかることになりました後藤公貴です。本日はクラブアッセンブリーということで大変緊張しております。なにかと不備あるかもしれません。ぜひ、最後までのお付き合いをよろしく願い申し上げます。



それでは慣例に従いまして、私が議長を務めさせていただきますこととなります。よろしくお願いいたします。冒頭で、次年度三

役、副幹事の2名をご紹介させていただきたいと思っております。お名前をお呼びしますのでご起立をお願いいたします。副会長・樋口貴弘君、幹事・佐藤貴之君、副幹事・石井孝行君、同じく副幹事・藤井敬亮君、そして私、後藤公貴。以上の5名で、次年度をしっかりと皆さまのお役に立てるよう頑張っております。1年間、どうぞよろしくお願いいたします申し上げます。

(拍手)

どうぞご着席ください。それでは以降は着座のまま進めさせていただきますことをお願いいたします。

はじめに本日の次第をご説明します。皆さん、お手元にクラブ2023-2024年度のクラブ活動計画書案をお持ちだと思います。もし、ない方は、ご自分のパーソナルボックスからお持ちになっていただければと思います。

はじめに、私より会長基本方針のご説明をさせていただきます。引き続き、佐藤幹事よりクラブ概況及び会務方針のご説明。続いて、クラブ運営委員会から順に各委員会方針を委員長または副委員長の皆さまにご説明をしていただき、最後にSAAのご説明にて委員会方針は終了となります。そして、最後に佐藤幹事より次年度予算案のご説明をさせていただきます。最後にすべての議題一括にて質疑を受け付けたいと思っております。ぜひ、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします申し上げます。

なお、以降は次年度予定者とかの次年度の文言は割愛させていただきますのでよろしくお願いいたします申し上げます。

まず、はじめに資料の訂正および加筆、そして差し替えがありますので佐藤幹事からご説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

佐藤 貴之次年度幹事

それでは、資料の訂正からご説明させていただきます。9ページで、例会予定表になっております。1カ所目、日付が7月8日となっておりますが、7月6日の誤りで訂正をお願いします。続きまして、11月9日は「創立85周年例会」となっていますが、今年度は87周年です。こちらは削除をお願いします。続きまして1月18日、「上期を振り返って（三役・四大委員長）」となっておりますが、「上期を振り返り、下期に向けて」と追加・加筆をお願いします。続けて4月11日は「地区研修協議会に参加して」となってお

りますが、地区協議会が4月13・14日に行われますので、1週ずらして4月18日に訂正をお願いします。続きまして、5月2日は休会となっております。ここで「みどりの日」となっていますがみどりの日ではありませんので削除をお願いします。10ページです。こちらは丸ごと差し替えです。皆さんのテーブルの文書に差し替えをお願いします。続きまして24ページで予算の数字になってきます。「特別」と書いてある下の方の小計の数字が間違っておりました。今、上期170万、下期170万で計340万となっております。こちらが訂正で上期168万、下期168万、計336万円です。続きまして26ページも下の特別という所の小計が間違っていて現在、上期177万5000円、下期162万5000円、計340万円となっておりますが、上期175万5000円、下期160万5000円、計336万円と修正をお願いいたします。

修正は以上です。

後藤 公貴会長エレクト

ありがとうございます。多くの修正あります。まず、私からお詫び申し上げます。それでは訂正点、加筆をもう一度説明させていただきます。まずは9ページ、例会予定の所、7月8日を7月6日に。そして11月9日の創立85周年を文言削除。そして、1月18日



は「上期を振り返り下期に向けて」に訂正。そして、4月11日の「地区研修協議会に参加して」を18日に移動です。そして、5

月2日休会の所で「みどりの日」の文言を削除です。続いて、10ページを丸ごと差し替えです。そして、24ページ予算案、収入の部の特別の小計、上期168万円、下期168万円、合計336万円に訂正。そして、最後に26ページ支出の部の特別の上期小計を175万5000円に訂正。そして下期を160万5000円に訂正。そして合計が336万円に訂正となります。以降、この訂正の文書で皆さまにご審議を諮りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、先ほどご説明申し上げた次第に沿って進めさせていただきます。初めに私の会長基本方針です。まず一読させていただいてからご説明させていただきます。

会長基本方針、2023-2024年度後藤公貴会長エレクト。

2023-2024年度釧路ロータリークラブスローガン「地域を愛し、未来を語る、ロータリーの輪を広げましょう」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあると記されています。そのためにはロータリーに入会することで出会った仲間とロータリーの様々な機会において、会員相互の理解を深める親睦と交流が活動の基礎となるべきと考えます。また、私たちはロータリーを通じて、この地域の課題や魅力、産業や経済動向を深く知ることが重要です。例会や事業を充実させて、有益な情報を共有し、町や企業の発展につなげるよう心がけましょう。さらに会員が満足のいく機会を得続けるためには会員増強・退会防止への取り組みは必須です。ロータリーの魅力はもちろん、私たちクラブの持つ「すがすがしい雰囲気」を伝播して、結果を追い求めましょう。

今年度、R I 会長テーマ『CREATE HOPE in the WORLD（世界に希望を産み出そう）』、第 2500 地区スローガン『今こそ、変わる勇気を。さあ、一步前へ』。変化を恐れず前進することが希望となり、明るい未来が作り出される。私はそう理解します。

「ビヨンド・コロナ」の時代を迎え、これまで窮屈な活動を強いられてきた私たちは、臆することなく通常のロータリー活動を行ってまいります。八十有余年の歴史と伝統を持つ釧路ロータリークラブの未来をともに考え、熱く語り行動する。全ての会員が心をひとつにしてロータリーで得た学びと気付きをもって地域や身近な人たちの希望となるよう努めましょう。明るく豊かで平和な未来を信じて。

私自身は成長をテーマに一生懸命に努力する所存です。皆さまのご指導、ご協力をお願い申し上げます。以下、クラブ活動目標を掲げさせていただいております。

- 1、会員・家族間の親睦・交流事業の充実。
- 2、地域の魅力や歴史を学ぶ例会および事業の推進。
- 3、青少年奉仕育成事業の推進。
- 4、釧路ロータリークラブ独自の継続事業の推進。
- 5、国際交流事業の推進。
- 6、会員増強・退会防止への取り組み強化。
- 7、R I 2500 地区並びに第 7 分区事業への積極的な協力。

文書は以上となっております。補足的な説明を申し上げます。

親睦と交流がロータリーの基本的な理念であると私自身は強く感じさせていただいております。その親睦と交流を基礎に、私たちが暮らすこの街・釧路地域を良く知る。何となく知ったとしても本当は知らないことだったり、新しく未来に向けて新しい活動や取り組みが行われていたり、新しい魅力が発見されたり、そういったこの例会、また事業を通じた中で、みんなで確認し合っていきたい。また、もうひとつの側面として

は、わがクラブには 20 名近くのいわゆる転勤族の方がご入会されております。その方たちに地域の魅力、釧路の魅力、またクラブの魅力を大きく知っていただくことで、次の赴任地、またどこかで誰かに会った時に「釧路は良い街だよ。もっともっとみんな来てよ」とスポークスマン的な役割をしていただけるような有益な情報を持って帰っていただきたいと思っています。

そのためには、会員基盤の強化は必須と思います。現在、100 名のクラブ人数を維持しております。ただ、油断してしまうとすぐに 90 名、80 名、そして 50 名という数になっていくと思います。会員増強・退会防止は恐らく日本中のクラブが持つ永遠の課題だろうと思っています。例えば、例会や事業を皆さんとお話する際に私自身が「会員拡大をみんなで進めましょう」「今、このように会員拡大が推移していますよ」と随時、発信させていただきたいと思います。ぜひ、耳を傾けていただいて頭の片隅に、そして心の奥底に思っただけだと幸いです。

「ビヨンド・コロナ」と書かせていただきましたが、コロナ禍の 3 年から 4 年の間、われわれは満足に 100% の活動ができていなかったのが現状です。それが 5 類相当に分類されたということで通常のロータリー活動を行っていくことが第一の大きな目標であります。ここ 3 年間ぐらいでご入会された方たちは、親睦交流の事業や青少年育成の事業の奉仕活動など、すべてのものを経験されていないと考えています。ぜひ、私の年度からまた新しい、そして通常のロータリー活動を再開して、素晴らしい奉仕活動・親睦事業に時間を作って参加していただくことで、ロータリーの魅力とわが釧路ロータリークラブの人々の魅力を感じただければと思っています。

最後に、私自身はまだまだ若輩ですので、皆さま方にお力添えいただいて、少しでも人として成長できる 1 年間にさせていただければと思っております。まずは、私の思いを皆さまにお伝えさせていただきます。会長基本方針については以上の説明となります。よろしく願い申し上げます。

続きまして、クラブ概況および会務方針を佐藤幹事、お願いいたします。

クラブ概況及び会務方針 佐藤 貴之次年度幹事

クラブ概況および会務方針をご説明させていただきます。まずご説明は今年度、大きく昨年と変わっている所をご説明させていただきます。

まず、1 番。会員数と内訳です。5 月 1 日現在で会員を記載させていただいております。会員数 100 名、正会員が 100 名となっております。2 番目、会員の年齢。会員の平均年齢が 58.93 歳となっております。最年長が 94 歳、最年少が 39 歳です。この年齢分布

についてはご一読をお願いしたいと思います。
続きまして、クラブの財政です。いろはの「に」です。ニコニコ献金の目標達成額を今年度は80万円とさせていただきます。

続きまして7番、次の3ページで、クラブのクラブ協議会です。年間4回ありまして、本日の6月1日が活動計画案の討議になっております。第2回目は来週、ガバナー補佐によるクラブ協議会。第3回が1月18日で上期活動報告と下期活動計画になっております。第4回が6月20日で年間の活動総括となっております。

続きまして8番目の総会です。今年度の総会は12月7日木曜日に年次総会を開催致します。続きまして12番、例会です。こちらはいろはの「に」です。年末クリスマス家族会、今年度は12月14日です。新年交礼会は1月11日。最終例会は6月27日となっております。

続きまして13番のその他です。いろはの「ろ」です。創立87周年に関する例会を開催し、当クラブの歴史への理解を深めることとします。

私からは以上になります。よろしく申し上げます。

(各委員会方針は活動計画書をご一読下さい。)

後藤 公貴会長エレクト

それでは、次第に沿ってのご説明が終了しました。ここで、すべての議題一括にて質疑応答を行いたいと思っております。

ご意見、ご質問ある方は挙手の上、お願い申し上げます。

質問者 邵 龍珍君



次年度青少年奉仕委員会の一兵卒で頑張りたいと思っております。後藤会長は、私の時の大役で幹事をさせていただきました。

そして佐藤幹事が私の時の副幹事でしたので、私が質問しなければ誰がするのだということで、私が率先して愛をこめて質問しますので、どうか答えていただきたいと思います。

私は予算の関係は苦手なので、会長の思いを少し伝えていただければと思います。会長のクラブ活動目標の中で3点ほど質問させていただきます。

1番目の会員家族間の親睦・交流事業の充実は、僕は非常に大切だと思っております。会員間のみならず、家族の皆さん、そして奥様がいてこそそのわれわれロータリー活動だと思っております。現実、われわれはク

リスマス例会と野遊会ぐらいしか奥様を招くことがないと思っております。その他に、奥様あるいはご家族を招いて何かをするというお考えがあるのでしょうか。

2点目は、青少年事業の推進です。われわれはこの3年間、とん挫をしていたと思っております。3年前に入会した方には、われわれがこんな活動していたのか、分からない部分がたくさんあると思っております。説明をしてもらいたいと思っております。

われわれ独自の事業としてアイスホッケーをやっております。委員会計画で、ひがし北海道大会開催となっております。元に戻しての開催を計画しているのかを教えてくださいたいと思っております。また、新しい青少年事業を考えて推進するのでしょうか。

3番目に先ほど地区補助金を使うことで20万円の計上がありました。地区補助金を使った何かの事業を会長自身が考えておられるのですか。われわれはいろいろな国際事業をしてきました。われわれのクラブには荒井会員という地区のグローバル補助金を使っての委員会に所属しているスペシャリストがいます。グローバル補助金を使った海外へ事業を考えているのか。もし考えているのであればそれは何なのかを教えてくださいたいと思っております。

後藤 公貴会長エレクト

ありがとうございます。1つずつお答えさせていただきます。僕には5点あったように聞こえました。

まず、会員・家族間の交流事業を例年の野遊会とクリスマス会以外に考えているのか、です。現状は、その2つを充実させて多くの家族の方にご参加いただければと思っております。ただ、委員会の申し出があったら、皆さんのこんなことを、とご意見がありましたら、それはタイトなスケジュールもありますが臨機応変に勘案しながらこれまで以上に家族にも楽しんでいただけるロータリー活動を念頭に考えています。

そして2つ目の青少年奉仕事業、特にアイスホッケーロータリーカップです。昨年度の滝越会長年度には「ドリームマッチ」という新しい形で開催され、これも大変面白い試みだなど思っております。ただ、3年間、通常の開催ができなかったことで、私自身は7年ぐらい前から、既存の釧路ロータリーカップを成長させたということ。そして釧路のレベルアップにつなげるという目的を持った釧路ロータリーカップ兼ひがし北海道アイスホッケー大会を開催したいと思っております。ご存じない方もいらっしゃると思うので簡単に説明します。従来の釧路ロータリーカップは、当時は競技人口もとても多かったから、なかなか試合に出られない子どもたちになんとか出場のを与えようという目的の下、開催をしました。ただ、時が経つと子どもが少なく、部活動が学校ひとつとして立ち行かないという現状があって、釧路のアイスホッケーの競技レベルも

少しずつ下がっていつている現状でした。そういったところを実行委員会の先生たちともお話をさせていただきながら、全道、全国各地からチームをお招きして釧路でスキルアップ、レベルアップにつなげる大会をしようとして4回開催させていただいて、コロナ禍に突入した経緯があります。私は全国、全道からチームをお招きして開催したいという思いを強くしております。こちらの方、青少年奉仕委員会の曾我部委員長、そして奉仕プロジェクト委員会岩田委員長を中心に、またわれわれ三役も話し合いの中に積極的に飛び込んで、そして例年、実行委員会で活躍していただいている先生方と今、まさに密にして準備を進めているところです。コロナ禍前の釧路ロータリーカップに戻るというイメージを持っていただければ。あと、運営方法にお考えをお持ちの方、私自身も考えが多少あるものですから、そちらは明確にはしませんが、1つずつ明確になった時点で皆さま方にお伝えしながら進めていきたいと思っております。ぜひご理解をお願いしたいと思います。

続いて、青少年奉仕の新事業についてです。今のところ青少年奉仕に関わる新事業というのは考えておりません。冒頭、申し上げましたとおり、まずは通常運営で、私たちがこれまで行ってきた奉仕活動、奉仕事業をしっかりと行っていくという位置づけの1年間にしたいと思えます。また、一朝一夕での青少年育成事業は確立しないと思えます。僕の思い付きでやることではないと思えます。こちらの方は青少年育成事業奉仕に関わらず、この街の未来につながる奉仕活動、奉仕事業といったところでも90周年、100周年という長期のビジョンを見据えた中で今年度の理事会を中心に、有識者の皆さま、会員の皆さまのお知恵をいただきながら慎重に進めたいと思っております。ぜひ、この中長期ビジョンに対しては情報集會等々を活用しながら皆さま方から意見をいただければと現在考えております。こちらのご理解もお願いします。

地区補助金事業です。実は地区補助金の事業締め切り日が昨日でした。こちらの方は、ガバナー補佐事務所にひとつの事業を申請させていただきました。細かく言いますと、とある会員から情報をいただいたのですが、今、釧路地域の中で、例えば「マリモを見たことありますか」とか「タンチョウを見たことありますか」など、要は「地元が誇れるものを見たことがない子どもが約7割もいる」そうです。逆に言うと、それを知っているのは3割しかいないのです。地域を知らずして地域を愛する心につながるのだろうか、と僕は強く思っています。10月に開催予定ですが、釧路市内の小学校3年生か6年生を対象にして、2日間にわたって50名から70名程度の児童を集めて、引率者を含めて1回100名程度の事業を2日間にわたって開催したいと思っております。今のところ、釧路湿原の展望

台周辺の自然環境や猛禽類研究所を見学、そして講話を聴くことで地域愛とか地域に対する知識、そして郷土愛というものに挑戦できる事業にしたいと思っております。こちらの方も詳細をひとつひとつ積み上げながら皆さまにご提示させていただきたいと思っております。

最後、グローバル補助金の事業ということです。先ほど邵君からお話いただいたとおり、長年にわたり荒井剛君に地区のグローバル補助金チームに出向いただいております。私も邵会長の時に、タイのカンチャナブリでレントゲンの機械を贈呈した事業に参加させていただいて、それ以降はコロナ禍もありまして、国際貢献事業でグローバル補助金を活用した事業を行っていません。できれば、これは荒井君と相談をさせていただきながら、地区協議会から「釧路ロータリークラブにやってほしい」、また、荒井君が「これは釧路ロータリークラブがやった方がいい」という強い思いがありましたら、私もそちらにコミットさせていただいて、グローバル補助金の事業を進めてまいりたいと思っております。こちらは荒井君を中心に、地区から有効・有益な情報いただき相談させていただきながら、こちらの進捗も皆さまにお伝えしていきたいと思っております。また、これまでのグローバル補助金や地区補助金を活用した事業は、多くの方が全てを知らないこともあると思えます。そういう事業の振り返りのな例會を予定させていただきたいと思っており、先日、国際奉仕委員会の工藤委員長にもお話をさせていただきました。こちらもそういったご理解をお願いいたします。雑駁ではありますが、以上でよろしいでしょうか。

質問者 吉田 潤司君

質問ではないのですが、物価が上がってお金がかかるのは分かります。会費は単純に去年から見てもぐらいい上がるのですか。

後藤 公貴会長エレクト

ただいま計算をしております。もし、よろしければ計算をしている間に、他の質問などありましたら承ればと思っております。

吉田 潤司君

私が別の質問をしていいですか。アイスホッケーの問題が出ましたが、スタート当初は素晴らしい事業だったのです。本当にホッケーに試合に出られない生徒のために行う大会だということで盛り上がっていたのですが、これはずいぶん少なくなってきましたね。今回、少なくなってきたから、いろんな地区から来てもらったということになると思えます。釧路の高校にはアイスホッケーの事業を長くやってきたけども、クラブの中では、将来的にずっと続くかどうかも含めて、

応援していく考えもあるけれど、他の事業に振り向けるべきではないかという考えもあることは伝えてはいると思います。そのあたり、会長はどう思いますか。

後藤 公貴会長エレクト

ありがとうございます。私の思いとして「当初の目的を果たしていないのではないだろうか」と、乱暴な言い方かもしれませんが「釧路ロータリーの役割はもう終わったのではないか」を総括するご意見なのかなと思います。釧路にとってのメジャースポーツだったアイスホッケーが今、マイナースポーツになりつつあるという観点、また競技人口が減って、われわれの役割が終わったからと言って早急に切り捨てるような決めつけをしていいのかということ。そして、生意気な言い方かもしれませんが、今だからこそ、われわれが手を差しのべ、協力すべきではないのかといったところが私の考えであります。

ただ、一生懸命頑張っている学校の先生や選手、親御さん、またこの地域のアイスホッケーに携わる人たちがこの大会を果たして良く思っているのか。必要な大会だと思っただけなのか、僕は大変重要な問題と思っています。今年また担っていただける武修館高校の先生、工業高校の先生と一度目の会合の時には「このロータリーカップはなくしてほしくない」という思いをいただいております。これから例年通り進めていく中で、「必要なのか」を常に確認をしながら未来に向けて進んで行けばいいなと思っています。また、運営母体をもっと間口を広げて、例えばですが、釧路のアイスホッケー連盟が主催をして、運営母体を違うNPO法人に移管をしていくのもひとつの考え方だと思います。お金をかけていくかもしれませんが段階的に運営方法・関わりを見直していくのはこれから進めてまいりたいと考えています。以上、答えになっていましたでしょうか。

質問者 吉田 潤司君

会長の考え方はよく分かりました。ただ、ロータリーの手続き要覧の中には「ロータリーは奉仕をしても、お金と人とは限りがあるから身の丈を超えるようなことはするべきではない」と書いています。このあたりをどうやって歯止めするのはすごく大事なことだと思います。釧路だからアイスホッケーをするというのはすごく大事です。ですけど、本当に釧路ロータリーがどこまでできるのかは、応援したいのと、できるかは別の問題だと思います。これはしっかりとみんなで考えていかないといけないと思い、質問させていただきました。

後藤 公貴会長エレクト

どうもありがとうございます。今のご意見・ご質問

をしっかりと未来のわれわれの事業につなげてまいりたいと思っております。ご質問ありがとうございました。幹事、計算は終わりましたか。

佐藤 貴之次年度幹事

大変失礼しました。先ほどは前年度の会費から今年度はどれくらい上がったというご質問でした。昨年度は25万7,650円となっております。今年度が25万9,590円ですので、差額として1,940円が増額しております。

この増額幅ですが、いろいろな委員会費、その他もろもろを押さえて、上げ幅をできるだけ少なくし、26万円以下になるように計算させていただきました。以上です。

後藤 公貴会長エレクト

ありがとうございます。昨年より下期・上期合わせて1940円の増額となります。何とか努力を認めていただければ、といったところで、ご理解ください。

吉田 潤司君

当然、努力はしていると思います。やはりロータリーの会費は企業会員で、企業が払っている人も多いと思います。やはりこれからはそうではなく、若い人が入ってくる時に「若い人が払える会費」というのがあると思います。これは、他のものが上がるから止むを得ず上げるということにならないように、やはり浪費ではなくて支出を減らす努力はいつも必要だと思います。でも、たいして上がっていないので、ホッとしました。

後藤 公貴会長エレクト

ありがとうございます。今日、ご参加の皆さんもぜひお金の有効な使い道をしっかりお考えいただければと思います。ありがとうございます。続きまして、ご意見・ご質問承ります。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

無いようですので、2023-2024年度の活動方針と活動計画書を皆さままでご確認いただいて、ご了承いただいたということでよろしいでしょうか。よければ皆さま、拍手をお願いします。

(拍手)

ありがとうございます。

質問もすべて出し尽くしたようです。以上をもってクラブアッセンブリーを終了させていただきたいと思います。皆さまのご承認、ご理解、誠にありがとうございます。

時間は少しだけ押ししておりますが、そうは言っても、今日からスタートでございますので、今日のクラブアッセンブリーが始まる前の緊張感を忘れないように

1年間、活動に邁進をしてみたいと思っています。先ほど、会の平均年齢が58.93歳とありました。私、今年で53歳になって、実は樋口君はそうは見えないかもしれません。僕より年下なのです。みんな僕より年下で、近年にない若い三役になっております。ということは、皆さまのご指導、ご協力が不可欠であります。不慣れな点、また若輩な点、社会・世間知らずの点も多くあろうかと思えます。ぜひ皆さまの叱咤激励を1年間よろしくお願い申し上げます。

本日、皆さまのご承認・ご理解の御礼とさせていただきます。1年間頑張ってみます。どうもありがとうございました。

それではマイクを今年度三役にお渡しいたします。ありがとうございます。

本日のニコニコ献金

■小野寺 俊君 先週のロータリアンマスターズで準優勝しました。

今年度累計 387,000円